

趣旨説明

このプロジェクトの内容は、国際交流、観光開発、地域づくりの3つの視点から再発見し、街づくりと観光開発をしていくということで進めています。フィールドワークやシンポジウムを行い、提言活動として留学生と一緒にプロジェクトを行うことに特徴があります。日程としては12月3日にオリエンテーション、第一回目の日光東照宮へのフィールドワークを行いました。第二回目のフィールドワークは12月10日栗山地域で行いました。プロジェクトの方法は、留学生、海外経験のある学生と共にフィールドワークを実施して、グループごとに観光客や商店、旅館で働く方々にインタビューをし、今回のシンポジウムで発表すること。そして今後の課題や改善点を探るということで皆さんとともに新しい発見をしていくことができたらと思います。今日のシンポジウムでは、疋野さんと伴さんにご講演いただきまして、後半は学生によるプレゼンテーションとなります。

重田 康博（宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター副センター長）

国際交流都市日光の再発見
—まちづくりと観光開発プラン—
趣旨説明

▶ 2017年12月16日 日曜日

▶ 宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター・日光市国際交流協会主催事業

▶ プロジェクトの目的の確認：重田康博
多文化公共圏センター副センター長

国際交流都市日光の再発見
—まちづくりと観光開発プラン—

●プロジェクトの内容：

- ▶ ☆ 宇都宮大学学生のみならず、留学生のみならず、バスで日光各エリアを回り、地元の人たちと交流しながら、国際交流都市日光の魅力①国際観光開発、②国際交流、③地域づくり、の3つの視点から再発見し、「まちづくりと観光開発」のためのフィールドワーク、シンポジウムを通じて提言を行い、日光に対して国際貢献・地域貢献していく、学生の気付きによる提言を行うプロジェクトです。
- ▶ ☆ これを機会に、日光のまちづくりと観光開発プランを宇都宮大学留学生・海外経験のある学生と共に考えます。
- ▶ ☆ 日光のまちづくりと観光開発プランとは、日光市の持続可能なまちづくりへの提言を学生主体のフィールドワークにより考え、世界や地域に発信していきます。

国際交流都市日光の再発見
—まちづくりと観光開発プラン—

●日程：

- ▶ オリエンテーション 2017年12月3日（日）10:00～12:00
▶ 場所：日光行政センター
▶ （宇都宮大学峰キャンパス正門8：30集合・出発）
- ▶ 第一回フィールドワーク 2017年12月3日（日）13:00～17:00（先着25名）
▶ 場所：日光東照宮（宇都宮大学峰キャンパス正門8：30集合・出発）
- ▶ 第二回フィールドワーク 2017年12月10日（日）8:00～18:00（先着25名）
▶ 場所：栗山地域、瀧西川温泉街、平塚の里（伝説歌謡）等列挙
▶ （宇都宮大学峰キャンパス正門8：00集合・出発）
- ▶ シンポジウム 2017年12月16日（土）10:00～18:00（開催）
▶ 場所：宇都宮大学峰キャンパス 大会館2階多目的ホール

国際交流都市日光の再発見
—まちづくりと観光開発プラン—

●プロジェクトの方法：

- ▶ (1) 留学生・学生たちが日光市内（東照宮、栗山地区周辺）において、フィールドワークを実施する。アンケート用紙を作成し留学生・学生によるインタビューを行う。
- ▶ (2) 留学生・学生たちは、日光市の関係者との共同作業により、地域の課題・改善点・今後の可能性を検討し、シンポジウムで発表する。
- ▶ (3) 留学生・学生たちは、「新しい発見」の内容についてインターネットなどを活用して具体的な提言・提案を行う。

国際交流都市日光の再発見
—まちづくりと観光開発プラン—

●「オリエンテーション」について

- ▶ ☆「オリエンテーション」2017年12月3日(日) 10:00~12:00
- ▶ (場所：日光行政センター)
- ▶ ☆日光市と学生間で、国際交流都市日光市の魅力と課題を検討し、新しい地域資源・観光資源の可能性などについて共同でオリエンテーションを行う。
- ▶ (内容)
- ▶ ☆参加者紹介説明者： 重田康博 (10分)
- ▶ ☆プロジェクトの目的を確認
- ▶ ☆フィールドワークの説明
- ▶ a. 子ども日光案内人による日光東照宮についてプレゼン (20分程度)
- ▶ b. 湯西川、栗山地域についてプレゼン (活動、湯西川、平家の里の歴史等)
- ▶ 説明者：足野晋一 日光市栗山地域 地域おこし協力隊 (30分)
- ▶ ☆グループの目標設定 説明者：アンドリュー ライマン国際学部准教授 (10分)
- ▶ ☆グループ分け・ワークショップ (50分)
- ▶ 12時終了後昼食

国際交流都市日光の再発見
—まちづくりと観光開発プラン—

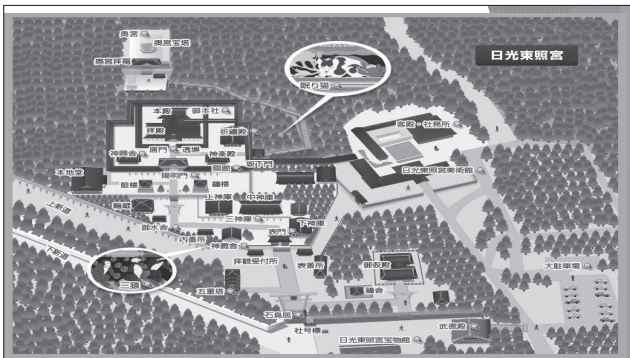
●「フィールドスタディ」について

- ▶ 「フィールドワーク」：12月3日(日)、12月10日(日)
- ▶ 学生は国際交流都市日光について紹介を受けつつ、新しい地域資源や観光資源を再発見し、本プロジェクトの調査の方法、参加型学習方法などを使い、日光の魅力や課題などを関係者にインタビューをした。
- ▶ ☆「フィールドワーク①」：12月3日(日) 13時開始17時終了
- ▶ 午後 日光東照宮見学を通し、国際観光都市としての日光を学習し体感する。
- ▶ ☆「フィールドワーク②」：12月10日8時~18時 (8時出発日光市9時到着予定)
- ▶ 宇大→日光市役所にて市バスに乗換、栗山地域へ移動
- ▶ ・水の郷(湯の駅)・湯西川温泉街・平家の里(日本の伝統家屋)等を見学。
- ▶ ・栗山地域の地域おこし協力隊の活動を学習し、地域資源・観光資源の要なる活用を模索する。

東照宮石鳥居 (いしどりい)

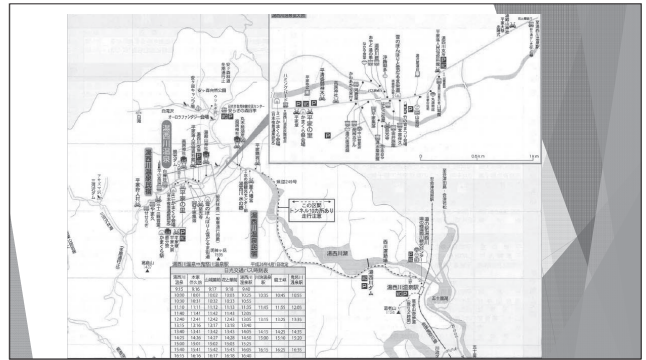


東照宮社殿



平家の里





**「国際交流都市日光の再発見
—まちづくりと観光開発プランを留学生と考える—」
●「シンポジウム」について**

- ▶ ☆「シンポジウム」12月16日(土)10時~13時 宇都宮大学 大学会館
- ▶ 「国際交流都市日光の再発見」のテーマによるシンポジウムを宇都宮大学で開催し、日光の地域資源・観光資源について意見交換を行う。
- ▶ 宇都宮大学国際学部多文化公共圏センター/日光市国際交流協会主催
- ▶ 日時：2017年12月16日(土) 10時~13時00分
- ▶ 場所：宇都宮大学 大学会館 2階多目的ホール
- ▶ 参加者は、日光市、宇都宮大学学生（アジア、欧米など留学生、海外経験のある留学生）、宇都宮大学教員、日光市関係者などを予定。
- ▶

**「国際交流都市日光の再発見
—まちづくりと観光開発プランを留学生と考える—」
●「シンポジウム」の流れ(前半)**

- ▶ プログラム
- ▶ 10:00~10:05 開会あいさつ
佐々木一隆 国際学部長、宇都宮大学国際学部教授
- ▶ 10:05~10:10 趣旨説明 重田康博(宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏副センター長)
- ▶ 10:10~11:00 第1部 講演
「日光市の栗山地区における地域おこし協力隊の活動と課題」
定野吾一 日光市栗山地域 地域おこし協力隊
「日光市の栗山地区におけるまちづくりと観光開発」
伴弘美 湯西川館本館 女将
- ▶ (休憩)

**「国際交流都市日光の再発見
—まちづくりと観光開発プランを留学生と考える—」
●「シンポジウム」の流れ(後半)**

- ▶ 11:10~12:10 第2部 プレゼンテーション
留学生によるプレゼンテーション「国際観光都市日光の「地域おこし」再発見！」
- ▶ 12:10~12:25 プレゼンテーションへのコメント
アンドリュー ライマン(宇都宮大学国際学部准教授、宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター員)
バーバラ モリソン (宇都宮大学国際学部准教授、宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター員)
佐藤正人 日光市観光部観光交流課長、日光市国際交流協会事務長
- ▶ 12:25~12:55 質疑応答(司会：重田康博)
- ▶ 12:55~13:00 閉会あいさつ 田巻松雄(宇都宮大学国際学部教授、宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター員)
- ▶ 終了 後昼食(食堂)